人を考えて強くなる
一人ひとりのための健康経営

KAGA
KAGA CORPORATION　加賀建設株式会社

所 在 地　石川県金沢市
従業員数　131名（男性60名、女性71名）
売 上 高　3,340,284,000円

沿　革

1943年　6月　加賀建設株式会社　創業

2015年　3月「いしかわ男女共同参画推進企業」認定
2017年　2月「はたらく人にやさしい事業所」認定
2017年　6月「女性活躍促進モデル企業」認定
2019年　7月「えるぼし(三ツ星)」認定
2020年 10月「地域牽引未来企業」認定
2020年 12月「くるみん」認定
2022年　3月「健康経営優良法人2021」認定
2023年　3月「石川県ワークライフバランス優良企業」認定
2023年　3月「健康経営優良法人ブライト500」認定

KAGA
KAGA CORPORATION

地域未来牽引企業
女性が活躍しています！
2020年認定 くるみん 子育てサポートしています
2022 健康経営優良法人 Health and productivity
金沢市 はたらく人に やさしい事業所
いしかわ男女共同参画推進宣言企業 女性活躍加速化クラス
石川県ワークライフバランス企業知事表彰
2023 健康経営優良法人 Health and productivity ブライト500

なぜ健康経営に
取り組む必要があるのか

Concept 私たちの価値観

Challenge

誰かの幸せを願う挑戦

人が育ち その人が世に貢献する

誰もが元気でいられる社会を目指して

人が成長するには「健康であり続ける」ことが欠かせない

一人ひとりが意識することで結果は大きく変わっていく

ウェルビーイング経営

心身ともに健康で、かつ社会的にも満たされるために

仕事への意欲やエンゲージメントを高めて

企業に関わるすべてのひとの幸せを目指していく

ー基本方針ー

1．誰もが元気でいられる組織をつくる

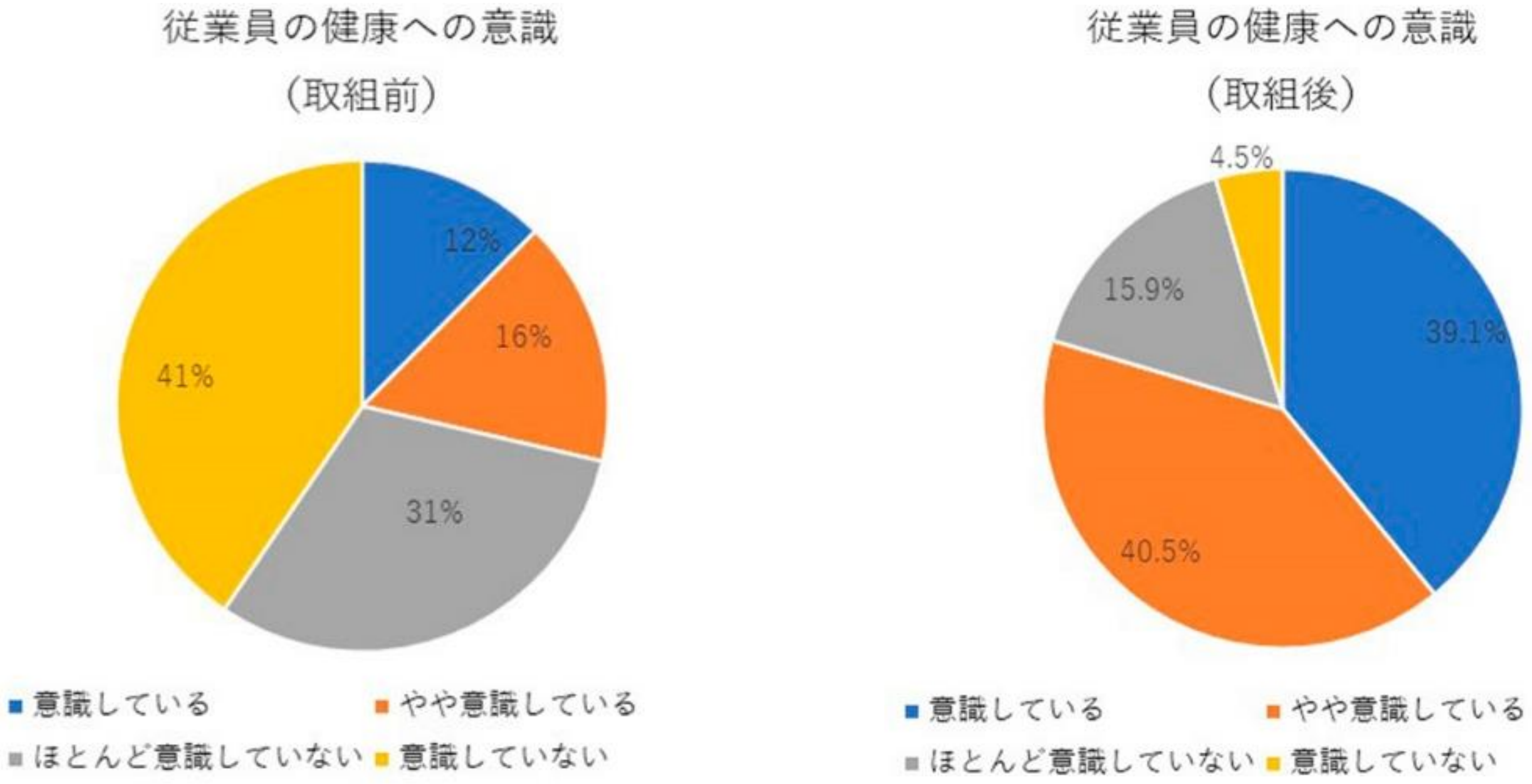
2．自分らしく働くために健康課題を把握する

3．チームで力を発揮できる健全なつながりをつくる

4．会社に来たくなる働きやすい環境を整備する

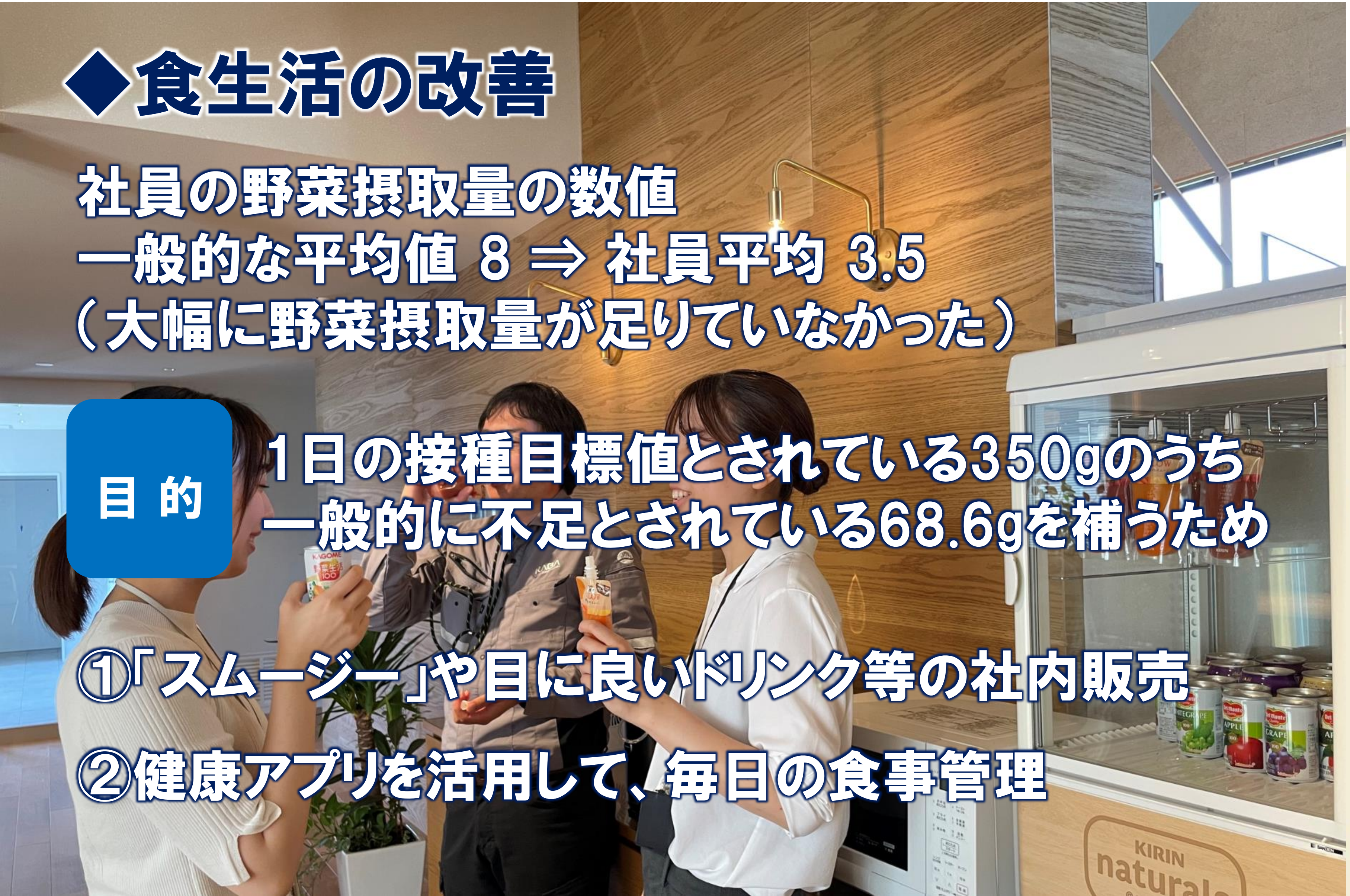
健康経営の
取り組み内容

意識している・やや意識していると回答した社員が
取組前に比べ2．8倍増加し、全社員の約8割に



人生100年時代における健康経営の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◆食生活の改善

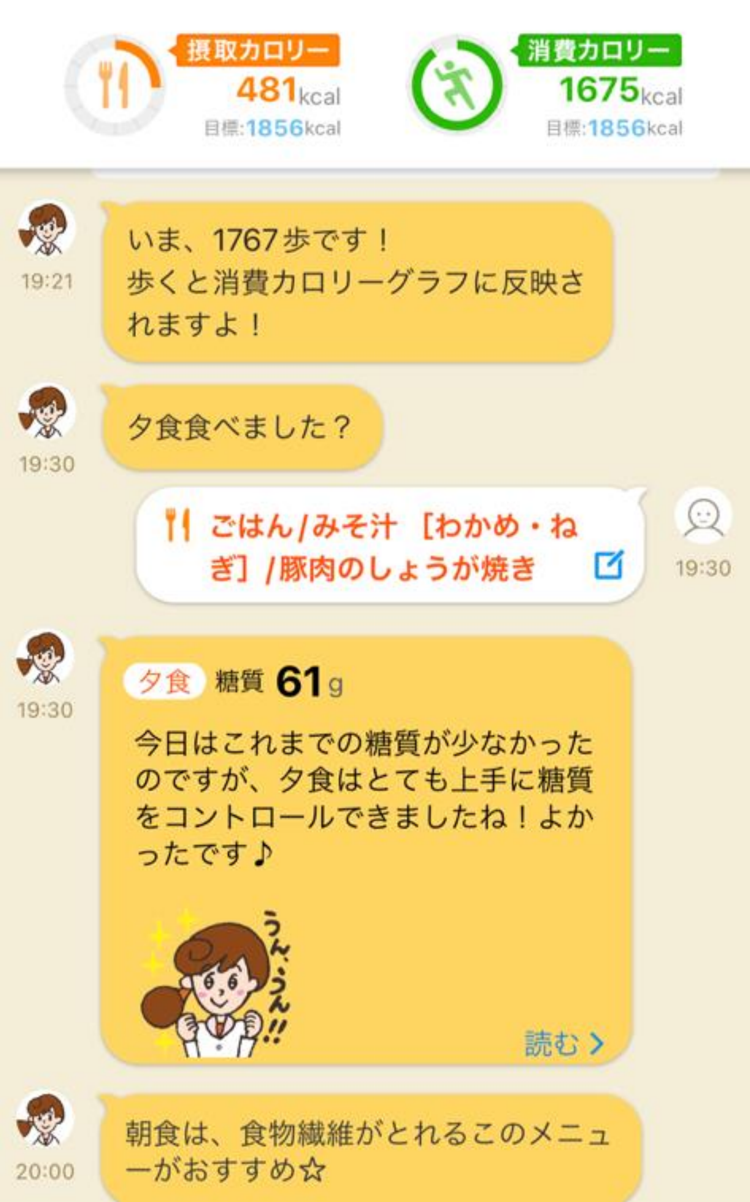
社員の野菜摂取量の数値
一般的な平均値 8 ⇒ 社員平均 3.5
（大幅に野菜摂取量が足りていなかった）

目 的

1日の接種目標値とされている350gのうち
一般的に不足とされている68.6gを補うため

①「スムージー」や目に良いドリンク等の社内販売

②健康アプリを活用して、毎日の食事管理



人生100年時代における健康経営の推進

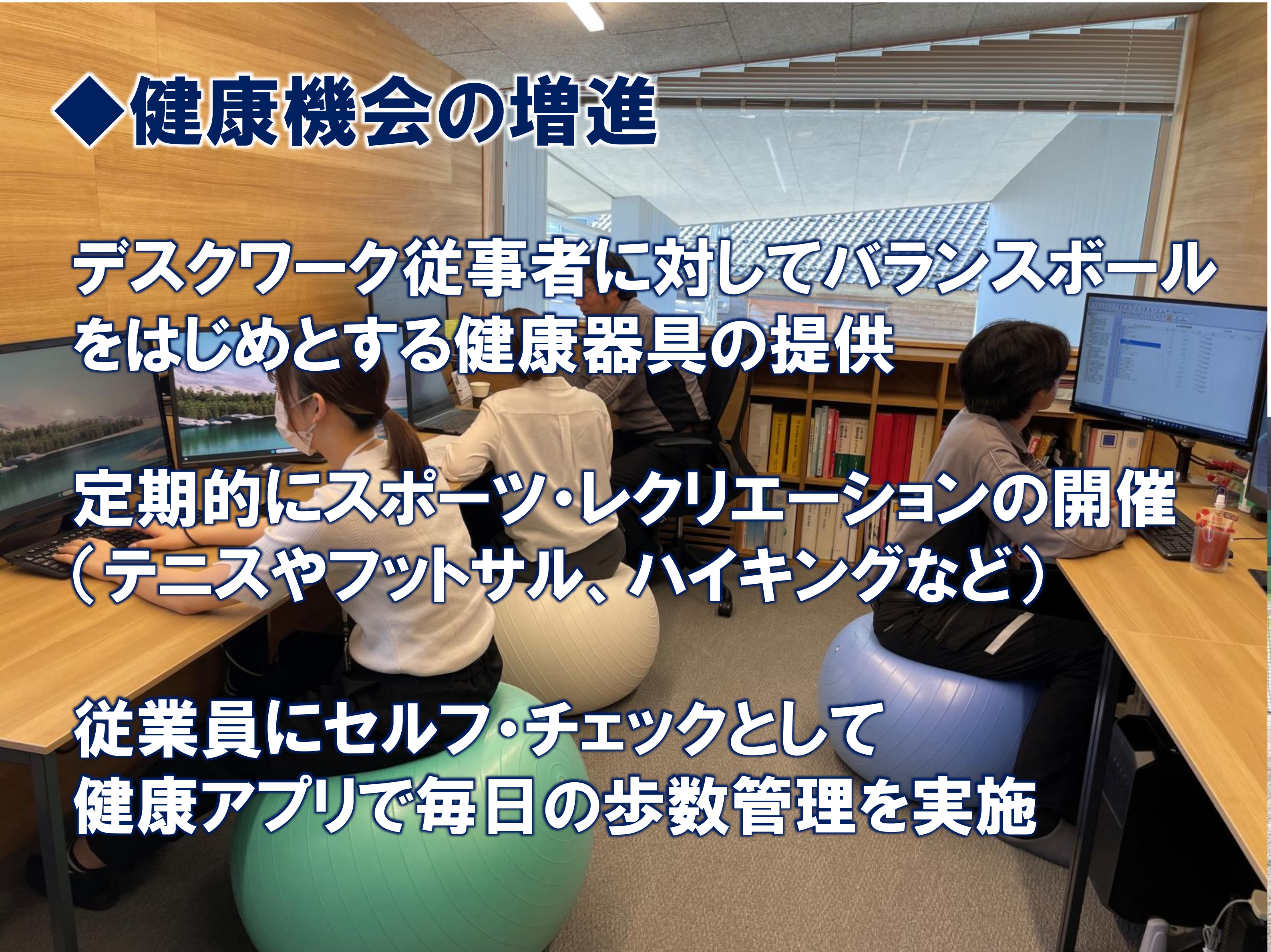
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◆健康機会の増進

デスクワーク従事者に対してバランスボールをはじめとする健康器具の提供

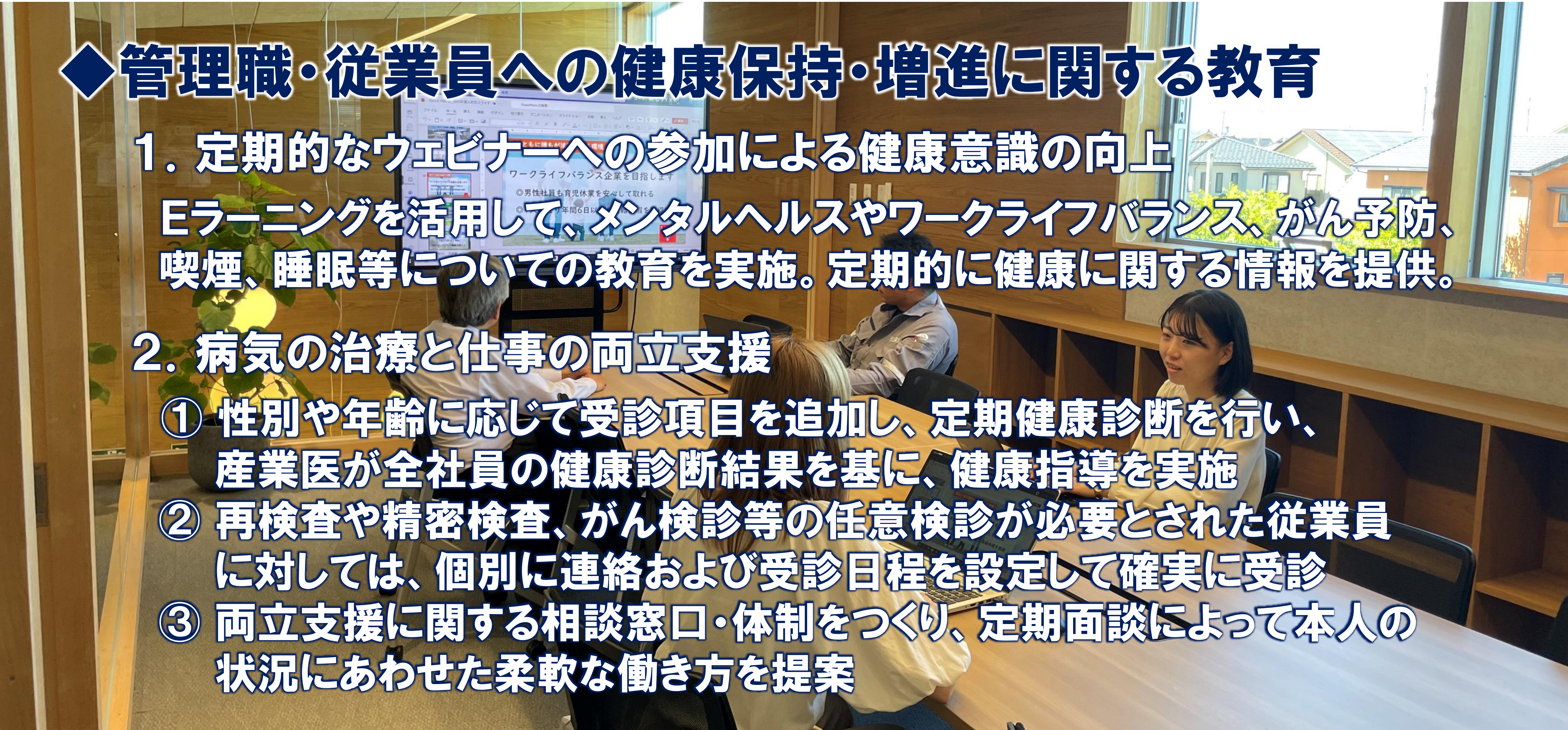
定期的にスポーツ・レクリエーションの開催（テニスやフットサル、ハイキングなど）

従業員にセルフ・チェックとして健康アプリで毎日の歩数管理を実施



人生100年時代における健康経営の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◆管理職・従業員への健康保持・増進に関する教育

1. 定期的なウェビナーへの参加による健康意識の向上

Eラーニングを活用して、メンタルヘルスやワークライフバランス、がん予防、喫煙、睡眠等についての教育を実施。定期的に健康に関する情報を提供。

2. 病気の治療と仕事の両立支援

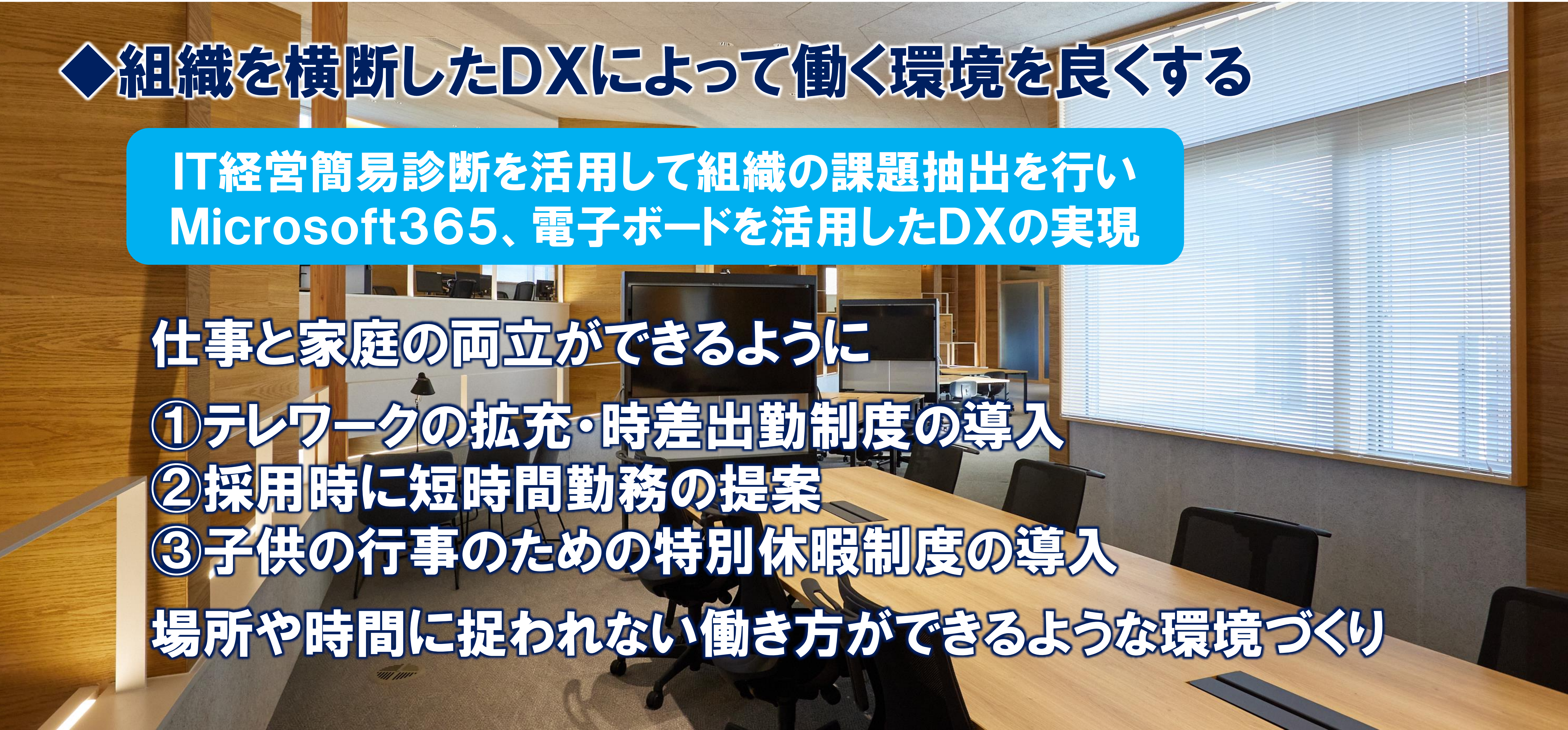
① 性別や年齢に応じて受診項目を追加し、定期健康診断を行い、産業医が全社員の健康診断結果を基に、健康指導を実施

② 再検査や精密検査、がん検診等の任意検診が必要とされた従業員に対しては、個別に連絡および受診日程を設定して確実に受診

③ 両立支援に関する相談窓口・体制をつくり、定期面談によって本人の状況にあわせた柔軟な働き方を提案

ワークライフバランスの推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◆組織を横断したDXによって働く環境を良くする

IT経営簡易診断を活用して組織の課題抽出を行い
Microsoft365、電子ボードを活用したDXの実現

仕事と家庭の両立ができるように

①テレワークの拡充・時差出勤制度の導入
②採用時に短時間勤務の提案
③子供の行事のための特別休暇制度の導入

場所や時間に捉われない働き方ができるような環境づくり

取組みを続けるうえで感じた苦労した点や悩み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

従業員からの意見

建設会社であるため、全社員が常に会社にいるわけではなく、取り組みを現場の人たちにも浸透させることに苦労を感じた。

（管理本部・20代女性）

SDGs推進会議や経営会議、Teams内でのメッセージで周知

取組みを続けるうえで感じた効果

従業員からの意見

他業種の企業や地域とのつながりが増えたこと。また、取材やセミナーへの登壇依頼、他社との情報共有の場が増えたため、新たな事業発展の機会につながったと感じる。

（管理本部・20代女性）

各シンポジウム・セミナーへの登壇によって健康経営の取り組みを発信

健康経営の認知理解と普及促進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第三の日本茶 Bowcha プロジェクト

世界での健康志向の高まりと
日本茶の需要が増えていることを追い風に
新しいお茶を世界に発信していく

ブライト500について

ブライト500取得の道のり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

従業員からの意見

これまでは社内で取り組みを行っているだけが、自分たちの取り組みをどんどん社外に発信していき、社外を巻き込んでの取り組みを行った。こういった活動の結果、ブライト500の取得につながったのだと思います。

（管理本部・20代女性）

ブライト500を取得してよかったと思うこと

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

従業員からの意見

採用活動においては学生へのPRにもなっていることや、他社から認定取得に向けての相談をいただいてお互いに情報共有を行っている。
また、健康経営の取り組みを行っている企業のと一緒にイベントを運営したりと、今までにない新たな活動ができるようになっている。

（管理本部・20代女性）

ブライト500取得のために

1．社員に任せるのではなく、経営者を中心として
健康経営施策や取り組みへの参加が必須

2．「社内」「社外」へ工夫した最低月１回以上の
あらゆる情報発信と更新が大切

3．取り組みに対して、目標と結果を数値化して
評価できるようにデータ収集と改善を繰り返す